



国際会長ニュース

愛と尊厳で世界を癒そう



国際会長 キム・サンチェ

2022年 1月号

キム国際会長のメッセージ

- * すべてのワイズメンに感謝
- * カンボジアの新しいクラブについての話し合い
- * 2022年に台湾の台北で行われる100周年記念式典の推進



2 ページ



IHQ ニュース 1月

- * ロールバックマラリアプロジェクトに10万米ドルを寄付
- * 特別な100周年記念ピンバッジが完成
- * 国際選挙のお知らせ

3 ページ



1月の強調月間テーマ: エンダウメントファンド(EF)

エンダウメントファンドの背景と、IHQの新拠点購入のための利用計画について

クヌード・ハウガード・クラウゼン
EF 評議員会委員長

世界を癒そう

4 ページ



1月の強調月間テーマ:

5 ページ

PWA 遺産

PWA 遺産プログラムの作業の進捗状況
2つのプロジェクトが完了し、4つのプロジェクトが進行中



6 ページ

インド中西区の2部での国際会長スローガンを支援する活動紹介



ホン・ヨンスン PWA 遺産プロジェクト共同委員長



「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」





キム国際会長のメッセージ

ワイズメンの皆さま、ご家族の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

特別な年の特別な月に皆さまをお迎えできることを大変嬉しく、光栄に思います。新年の朝は、ワイズメンズクラブ国際協会(YMI)の100周年、そしてこれからの更なる100年に向けた出発点として明るく幕を開けました。

最初に、新型コロナウイルスによる苦難にも関わらず、ワイズメンのファミリーの皆さまが、私たちの運動を活気づけるために尽力されたことに深く感謝したいと思います。

2022年はYMIの100周年という意義深い年です。数人の情熱的な若者によって始められた運動の最初の100年を私たちは、目撃し、その一部となり、再び新しい始まりに立ちます。

2021/22年度国際会長として、私は、「Y's Men with the World (世界とともにワイズメン)」というテーマと「Heal the World with Love and Dignity. (愛と尊厳で世界を癒そう)」というスローガンを掲げました。皆さまと一緒に、愛と尊厳をもって世界の苦しみを癒す手助けをしたいと思います。

私は、12月にカンボジアのプノンペンを訪れ、カンボジアの保健当局者と今後のYMI医師団の協力について話し合いました。カンボジアの韓国人と現地の高官からなる新しいクラブの結成についての話し合いにも進展がありました。2月に予定されているYMI医師団プロジェクトの時には、より詳細な情報を共有できると思います。

世界は、新型コロナウイルスによる危機が、長引いています。現在のパンデミック状況を克服し、国や世界の災害に事前に備えるため、また、ヒールザワールド(世界を癒そう)をワイズメンズの代表ブランドとするため、YMIの旗印のもと、ヒールザワールドにご関心をお寄せいただきますようお願いいたします。



また、2022年11月15日から17日まで台湾の台北で開催されるワイズメンズクラブ100周年記念式典にもご関心とご参加をお願いします。YMIの成長と連帯の証となるようなものにしたいと思います。新年のエネルギーが皆を奮い立たせてくれることを願っています。

皆さまと皆さまのご家族のために、心からの願いを込めて、健康で幸せな新年をお迎えください。

2021-2022 国際会長
キム・サンチェ

IHQ からのニュース - 2022 年 1 月



ようこそ 2022 年。国際事務局は、皆さまが祝福され、健康で幸せな新年をお迎えになることをお祈りいたします。今年 YMI が 100 周年を迎え、大きな希望と興奮に包まれた時です。



この度、国際協会のリーダーの皆さまに、効果的な評価を行うための中間報告をお願いすることになりました。次期区理事と次期地域会長のオンラインでの予備会議を 2022 年 1 月 29-30 日に開催し、3 月末にはドバイでリアルな会議を行いたいと考えています。

先月、ロールバックマラリア (RBM) への皆さまの多大なるご寄付により、世界のマラリア撲滅活動のためのグローバルファンドに 10 万米ドルを寄付することが出来ました。このような価値ある活動に多額の寄付ができることは、私たちにとって大変光栄なことです。

1 月は、YMI の持続可能な未来を保証するためのエンダウメントファンド (EF) の強調月間です。100 周年記念の特別なピンバッジが作られ、ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産基金に 100 ドルの寄付をすることで現在入手可能です。すべてのクラブは、100 周年記念の年にこのピンバッジを確保するよう、会員に呼びかけてください。寄付とピンバッジへのリンク <http://www.ysmen.org/supplies/> にあります。




断食の時 (TOF) の応募締め切りは、3 月 15 日です。クラブは、独自に、または YMCA と協力して、地域社会でプロジェクトを行うことを検討してください。

年次国際選挙が進行中で、[詳細はこちらのウェブサイト](#)に掲載されています。

国際書記長ジョース・ヴァルギーズ

今月は、ジョース国際書記長が少しスペースを空けてくれたので、インドのバンガロール第 2 部が、少し前に発行した素晴らしい情報ナゲットの数々を思い出していただく良い機会にしたいと思います。情報ナゲットの内の 50 個は、www.ysmen.org/training/information-nuggets/ でダウンロードできます。また、右側に例が示されています。

編集長ウォリー




Y'S MEN INTERNATIONAL

INFORMATION NUGGET 2

Judge Paul William Alexander – The Architect of the Movement

Besides being the founder and first President Emeritus of Y's Men International, Paul William Alexander was a respected figure in the United States judicial system.

He was born on 8 December 1888 in Toledo, Ohio, USA. He graduated from Dennison University and Harvard Law School. He retired as a judge of the Juvenile and Domestic Relations Courts of Lucas County, Ohio. He was considered a pioneer in juvenile justice reform, introducing evaluation, therapy and mentorship programmes to troubled youth instead of simply punishing them for their transgressions. His novel approach saw a reduction of 30% in repeat offenders, and he was often asked to speak about his philosophy and methods.



Judge Alexander remained an active Y's Men's leader, steadfastly steering the organisation from his first involvement in 1920 until his death on 29 June 1967.

Y's Men all over the world observe 8 December each year, the day of Paul William Alexander's birth, as Founder's Day.

Released by Bangalore District II as part of its member enrichment programme

1月の強調月間-エンダウメントファンド(EF)

1月は、EFの月です。新しい年を迎えるにあたり、私たちの運動の将来について考えるのに、これほど適した時期はありません。EFの目的は、YMIの現在と将来の目的のために財政的支援と安定を提供し、特別なプロジェクト、エクステンション、運動の拡大を支援することです。皆さままたは皆さまのクラブでEFに50スイスフラン以上の寄付をしていただければと思います。様々な寄付の 카테고리については、YMIのウェブサイト(<https://www.ysmen.org/our-work/programmes/endowment-fund/>)で詳しくご紹介しています。

毎年、管理委員会は、国際議会のために、EFの時価総額の5%を超えない金額を用意します。そのほとんどは、クラブに対する特別発展支援金(SDS)のための資金です。EFの資産の大半は、株式で運用され、残りはインドの銀行口座に預けられています。



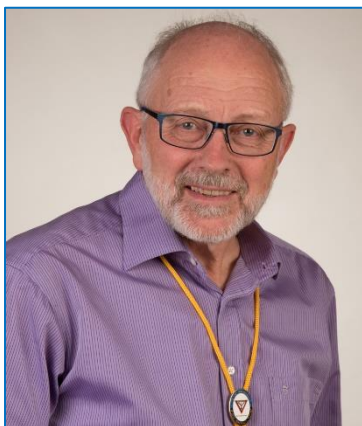
この2年間でこれらの株式の価値は、かなり上がりましたが、特に市場の変化が速く、大きいときには、常にリスクがあります。

現在、株式の一部を売却し、その資金をIHQのオフィスとなる不動産に投資することを検討しています。現在、国際本部は、とても小さく、将来

に向けて新しい場所を探す時期が来ているのです。直前国際会長のジェイコブ・クリステンセン、次期国際会長のサミュエル・チャックと私は、11月下旬にジュネーブに行き、本部の候補となる物件を視察してきました。ジュネーブの中心部にある268平方メートルの非常に魅力的なスペースを見せてもらいました。もし、YMIがこのスペースに投資すれば、スタッフの拠点となり、そこでミーティング(国際議会や年次会議など)を開催することも可能になるでしょう。また、これらの会議室は、他の団体に貸し出すこともでき、経済的な価値も高まります。



国際議会が、この不動産の購入計画を承認した場合、EF資産の一部を購入に充てる予定です。一部の株式を売却し、ジュネーブの不動産に投資することで、ポートフォリオを多様化し、将来的にEFのリスクを軽減することができます。長期的な不動産価値の上昇は、株式のリターンによって得られると期待されるものと同程度になると思われれます。この投資戦略には非常に安心感を覚えます。



EF評議会委員長 クヌード・ハウガード・クラウゼン

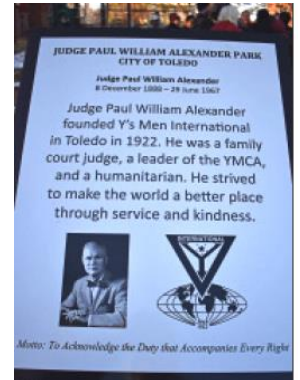


1月の強調月間-PWA 遺産



ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産プロジェクトは、2022年の100周年記念式典に向けて、YMIの創設者を称える特別プログラムです。

このプログラムでは、様々なプロジェクトが計画されており、既に2つのプロジェクトが達成されています。アメリカ、オハイオ州トレドの歴史的なウッドローン墓地にある、これまで無名だったポール・ウィリアム・アレキサンダーの墓に墓石を購入し、設置しました。トレド市は、創設者を称える地元の記念碑の設置に同意し、公共の公園の名称を創業者の名にちなんで変更することを提案しました。YMIは「ポール・ウィリアム・アレキサンダー判事公園」を提案し、2019年11月初旬に正式に設置された案内文の看板を提供しました。



今後のプロジェクトは、以下のとおりです。

- ** ミネソタ州の文書保管庫にある文書を始めとする重要文書のデジタル化とオンライン保存/検索、オンライン博物館の創設、YMIストーリーの世界的な普及
- ** グレータートレドYMCAにワイズメン遺産の壁を設置すること
- ** ジュネーブにあるIHQのオフィススペースの購入
- ** 創立者の名を冠した新しい国際奉仕プロジェクトの創設

これらのプロジェクトを支援するために、私たちは、100周年祝賀の間に100万米ドルを集めることを目標としています。プロジェクト開始にあたり、各エリアの目標金額を米ドルで設定しました。アフリカ1万ドル、アジア太平洋10万ドル、カナダ/カリブ海諸国3万ドル、ヨーロッパ20万ドル、インド35万ドル、韓国25万ドル、ラテンアメリカ1万ドル、米国5万ドルです。2020年末には25万ドルを集めました。どのような状況か、地域の役員にご確認ください。

寄付のための包括的な方法と寄付に対する報奨があります。最近の寄付者のリストと詳しい情報は、<https://www.ysmen.org/centenary/pwa-legacy/>で見ることができます。



皆さまには、目標を忘れず、PWA遺産プロジェクトの立ち上げ時の興奮と情熱を思い出していただき、公約を果たしていただきたいと思います。

皆さまの積極的な募金へのご参加をお待ちしております。

ホン・ヨンスン PWA遺産プロジェクト共同代表

世界を癒そう

Tell a Good Story.



国際会長のスローガンは「Heal the World with Love and Dignity（愛と尊厳で世界を癒そう）」。インド中西区の第2部と第8部は、このスローガンを掲げ、地域の学校に愛と支援を提供しました。各部は、地域のニーズを評価するよう求められ、新型コロナウイルスの流行抑制を支援するための物資を提供することを選択しました。物資には、デジタル体温計、マスク、手洗い洗剤、足踏みペダル式と自動消毒液噴霧器などの必需品が含まれています。

写真提供：ジャイ・N・ジョン 第2部部長、ルーシー・デヴァシー 第8部部長

